

ワークショップ 異文化体験

～知っていますか？日本という“外国”で学ぶ子ども達～

地域応援団を目指して！

草加市では日本語を母語としない子ども達が年々増えています。
子どもはすぐにその国の生活に溶け込むから大丈夫と考えていませんか？
確かに友達と遊んだり、毎日の生活で会話は自然に身につきますが、学習となると全く違います。
外国で学習するってどういうもののでしょうか。ワークショップを通じてあなたも体験してみませんか。
あなたの周りでがんばっている子を見守り、応援するコツが分かるようになるかもしれません。

日時： 8月29日(土) 午後1時半から3時半
場所： 草加市中央公民館 第1,2講座室
内容： ワークショップ「異文化理解のためのシミュレーションゲーム」
講師 (特)開発教育協会 西 あい さん
定員： 50名(先着順)
費用： 無料
連絡先： Tel. : 080-2049-4117 ((特)リビングインジャパン)
Mail : sokaliving@yahoo.co.jp



このワークショップは次の一連の講座の一部です。

1	8月29日(土)	中央公民館	(特) 開発教育協会 西あいさん	<ワークショップ>
2	9月13日(日) 午後1時30分～ 3時30分	中央公民館 第1,2講座室	AJALT 松尾恭子さん (特) Living in Japan	<講座> 埼玉県内の日本語支援について 他市、草加市の現状
3	11月8日(日) 午後1:30～	未定	東京外国語大教授・ 留学生日本語教育センター所長 伊東 祐郎 先生	<講座> (仮)「日本語を学ぶということ」
4	平成22年1月頃	未定	(予定)「どのように支援するのか～日本語指導の実際～」 「これからの支援・できることを考える」	<事例> 日本語指導の実際 <ワークショップ> できることを考える など

主催 特定非営利活動法人 Living in Japan

市役所内にて市民の立場から国際相談コーナーを運営しています。



<ワークショップ>って何？という方のために

部屋の四隅、ブレインストーミング、ランキング、フォトランゲージ、イメージマップ、タイムラインなどの基本アクティビティを使って「ファシリテーター（促進者という意味）」と呼ぶ指導者が、参加者ひとりひとりがそれぞれ異なる経験・知識・意見などをもっていることを尊重し、それらを引き出し、対話を生み出し、相互の学びあいを促進したりする参加型学習です。

プログラム例として、「世界がもし100人の村だったら」「新・貿易ゲーム」「パーム油のはなし」「レヌカの学びなど」があります。

(特) 開発教育協会 DEAR (ディア) Development Education Association and Resource Center
開発教育の調査研究や普及事業を行っている NPO 法人。国際人権教材アワード（2004年・アジア太平洋人権情報センター）受賞。 教員、大学生、一般の人などへの実践事例多し。

私たち**特定非営利活動法人 Living in Japan**は、

日本語を母語としない

日本文化を母文化としない人たちが

日本で生活したり 子どもが学校に通うことの支援を行い

より良く地域になじみ、暮らせること と

成熟した多文化共生社会として、

お互いの文化などを尊重し合える まちづくり を

目指しています。

<事業内容>

- ・国際相談コーナー（2003年より市役所内に設置）の運営
昨年度利用件数 2767件
日本語支援時間数 2022時間
- ・にほんごで勉強会
（獨協大と谷塚文化センターにて）
昨年度実施回数 93回
- ・資料閲覧・貸し出し
- ・多文化共生のための講師 など

募 集 中

活動に参加する会員、
ボランティアスタッフ、
応援してくれる賛助
会員など。

興味のある方はご連絡
ください。

(特) **Living in Japan** 代表理事 やなせ 築瀬 裕美子

<連絡先> 〒340-0044 埼玉県草加市花栗3丁目21番8-804号

Tel. **080-2049-4117**

Mail soka-living@yahoo.co.jp

<http://www.p-kit.com/hp/sokaliving/>

ワークショップ 異文化体験

～知っていますか？日本という“外国”で学ぶ子ども達～

地域応援団を目指して！

草加市では日本語を母語としない子ども達が年々増えています。
子どもはすぐにその国の生活に溶け込むから大丈夫と考えていませんか？
確かに友達と遊んだり、毎日の生活で会話は自然に身につきますが、学習となると全く違います。
外国で学習するってどういうもののでしょうか。ワークショップを通じてあなたも体験してみませんか。
あなたの周りでがんばっている子を見守り、応援するコツが分かるようになるかもしれません。

日時： 8月29日(土) 午後1時半から3時半
場所： 草加市中央公民館 第1,2講座室
内容： ワークショップ「異文化理解のためのシミュレーションゲーム」
講師 (特)開発教育協会 西 あい さん
定員： 50名(先着順)
費用： 無料
連絡先： Tel. : 080-2049-4117 ((特)リビングインジャパン)
Mail : sokaliving@yahoo.co.jp



このワークショップは次の一連の講座の一部です。

1	8月29日(土)	中央公民館	(特) 開発教育協会 西あいさん	<ワークショップ>
2	9月13日(日) 午後1時30分～ 3時30分	中央公民館 第1,2講座室	AJALT 松尾恭子さん (特) Living in Japan	<講座> 埼玉県内の日本語支援について 他市、草加市の現状
3	11月8日(日) 午後1:30～	未定	東京外国語大教授・ 留学生日本語教育センター所長 伊東 祐郎 先生	<講座> (仮)「日本語を学ぶということ」
4	平成22年1月頃	未定	(予定)「どのように支援するのか～日本語指導の実際～」 「これからの支援・できることを考える」	<事例> 日本語指導の実際 <ワークショップ> できることを考える など

主催 特定非営利活動法人 Living in Japan

市役所内にて市民の立場から国際相談コーナーを運営しています。



<ワークショップ>って何?という方のために

部屋の四隅、ブレインストーミング、ランキング、フォトランゲージ、イメージマップ、タイムラインなどの基本アクティビティを使って「ファシリテーター（促進者という意味）」と呼ぶ指導者が、参加者ひとりひとりがそれぞれ異なる経験・知識・意見などをもっていることを尊重し、それらを引き出し、対話を生み出し、相互の学びあいを促進したりする参加型学習です。

プログラム例として、「世界がもし100人の村だったら」「新・貿易ゲーム」「パーム油のはなし」「レヌカの学びなど」があります。

(特) 開発教育協会 DEAR (ディア) Development Education Association and Resource Center
開発教育の調査研究や普及事業を行っている NPO 法人。国際人権教材アワード (2004 年・アジア太平洋人権情報センター) 受賞。 教員、大学生、一般の人などへの実践事例多し。

私たち**特定非営利活動法人 Living in Japan**は、

日本語を母語としない

日本文化を母文化としない人たちが

日本で生活したり 子どもが学校に通うことの支援を行い

より良く地域になじみ、暮らせること と

成熟した多文化共生社会として、

お互いの文化などを尊重し合える まちづくり を

目指しています。

<事業内容>

- ・国際相談コーナー (2003 年より市役所内に設置) の運営
昨年度利用件数 2767 件
日本語支援時間数 2022 時間
- ・にほんごで勉強会
(獨協大と谷塚文化センターにて)
昨年度実施回数 93 回
- ・資料閲覧・貸し出し
- ・多文化共生のための講師 など

募 集 中

活動に参加する会員、
ボランティアスタッフ、
応援してくれる賛助
会員など。

興味のある方はご連絡
ください。

(特) **Living in Japan** 代表理事 やなせ 築瀬 裕美子

<連絡先> 〒340-0044 埼玉県草加市花栗 3 丁目 21 番 8-804 号

Tel. **080-2049-4117**

Mail soka-living@yahoo.co.jp

<http://www.p-kit.com/hp/sokaliving/>